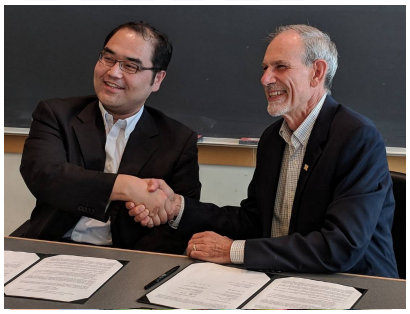
Kyoto Institute for Regional Prospects
KIRP
NEWS LETTER 9
2018 VOL





KIRPについて

京都地域未来創造センター（KIRP）は、京都府立大学の「知」を活かし、地域の未来を創るための拠点として発足した地域に向けた総合窓口です。協働研究、受託研究等に関するご質問、ご相談があればお気軽にお問い合わせください。

Tel & Fax : 075-703-5319
mail : kirpinfo@kpu.ac.jp
HP : http://www.kpu.ac.jp/

〒606-8522
京都市左京区下鴨半木町1−5
「稲盛記念会館」１階

京都府立大学
京都地域未来創造センター
KYOTO INSTITUTE FOR
REGIONAL PROSPECTS



米国ポートランド州立大学公共サービス研究・実践センター（CPS）との国際交流協定の締結

本センターは、2018年9月5日（現地時間）に米国ポートランド州立大学公共サービス研究・実践センター（Center for Public Service: 以下、CPS）と国際交流協定を締結しました。現地で行われた調印式には、本センターから宮藤久士センター長、青山公三副センター長と私の3名が出席しました。

CPSは、「全米一住みたいまち」として世界的に注目を浴びているポートランドのまちづくりを支える大学と地域コミュニティをつなぐ橋渡し役として、公共サービスの研究及び実践に関する多彩なプログラムを国際的に実施してきた経験を有するセンターです。とりわけ、そのノウハウを生かした日本の地域公共人材（自治体職員、議員、NPO、市民活動家など）の育成プログラムに関しては、15年以上もの蓄積と優れた実績があります。本センターとその目的や機能、取り組み内容についても類似する点が多く、センターの運営ノウハウやSD（Staff　Development）についても先進的な取組みを行っていることから、CPSと調査・研究・教育及び人材育成などあらゆる面で相互協力し、交流を深めることの意義はきわめて大きいと考えています。

CPSとの関係は、私が2015年4月～2016年3月にポートランド州立大学客員研究員として同大学にお世話になったことを契機としていますが、本センターとしては、2015年1月にKIRPの前身である京都政策研究センター主催の講演会に西芝雅美ＣＰＳ副センター長を招聘したことに始まります。その後も両センターの教職員とで意見交換会を重ね、2017年度からはCPS主催の「まちづくり人材育成プログラム」の広報・周知等に協力させて頂いておりましたが、このたび正式に両センター間で継続的な交流を推進していくことで基本合意がなされ、国際交流協定の締結に至りました。

調印式は終始和やかな雰囲気の中で行われ、CPSのKeislingセンター長と本センターの宮藤センター長による覚書へのサインとあいさつが行われた後、両センターの出席者から今後の交流のあり方や様々な可能性について、忌憚のない語らいの場となりました。（公共政策学部　川勝准教授）

包括協定先市町村訪問

本大学が連携包括協定を結んでいる府内市町との連携・協力の取組を一層推進するため、８～９月の間、新たに包括協定を結んだ自治体を中心に、宮津市、和束町、精華町、南丹市の４自治体への本センターによる訪問を行いました。

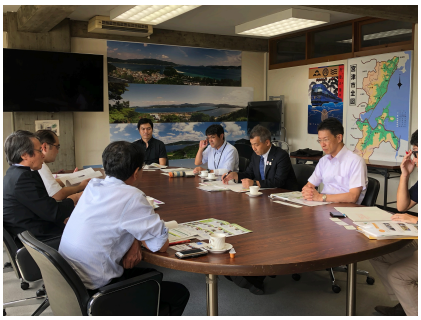
各訪問先の市町村では、各自治体の首長や所管課の職員に、本センターの設立目的、活動内容、過去の連携の実績などを説明するとともに、自由に意見交換を行うことができました。

各自治体とも、人口減少や高齢化にともない発生する地域課題の解決への府立大学の研究知見や地域をフィールドにした若い学生のアイデアに対する期待が述べられました。

また、各自治体とも単独での職員研修が難しくなってきており、新しい発想や事例を学ぶ幹部人材の育成、住民とのパートナーシップや地域運営など新しい手法について学ぶなどのことが大学の教育プログラムの中でできないかなどという声も聞かれました。

本センターでは１０月、市町村との意見交換会を行いましたが、そこでの意見とも合わせ、新しいアクションが起こせるよう、考えていきたいと思います。

（公共政策学部 梅原准教授）



宮津市との懇談の様子

KIRPが取り組み中の調査・研究の動き

受託研究

（１）京都経済同友会「京都府北部地域における観光人材調査業務」

2018年中に京都経済同友会として提言を出す予定で進めています。7月に城崎温泉の西村屋旅館に先進事例調査に行き、時代の流れに即した素晴らしい動きに感激しました。それを受け、提言の骨子づくりを進めています。

（２）京都府市町村振興協会「海外行政調査研究プログラム研修業務（シンガポール）」

市町村の海外研修を引き受けて3年目です。今年はシンガポールに調査に行きます。シンガポールも少子高齢化に悩む国の一つですが、積極的な産業・都市政策によって、人口当たりの所得額は今や日本の2倍近くになっています。現地の自治体国際化協会の多大なる協力を得て進めています。

ACTR

（１）「産業関連情報の総合的集約とそれを用いた地域産業情報支援および情報発信産業支援サイトのあり方と活用方策」

城陽市における産業支援サイトの立ち上げに協力する調査です。城陽市のいくつかの企業のヒアリングを始めました。なかなか知る機会に恵まれずに来ましたが、本当に頑張っている企業が多くあり発信の重要性を感じています。また寺田芋、梅、イチジクなどの名産物もあるといった情報も集まって来ました。イチジクは生ハムと食べると格別です。

（２）「宇治市・西小倉地域（近鉄小倉駅周辺）における市民との協働型まちづくりのあり方検討」

宇治市の小倉地区の調査が始まりました。近鉄小倉駅とその周辺の密集市街地の将来を考える調査です。炎天下の中、建物調査を敢行しました。手伝ってくれたアルバイトさんには感謝・感謝です。密集市街地ですが、家の前に置かれているフラワーポットに潤いを感じました。





宇治市小倉地域調査風景

報告　KIRP学生部会かごら×福知山公立大学

昨年に引き続き二回目の開催となりました「学生部会かごらと福知山公立大学学生プロジェクト・学生ボランティアサークル意見交換会」は、今回は本学での実施となりました。

かごらカフェの活動にご参加いただき、評価や感想をいただけたことは今後の運営の向上にもつながる貴重な機会であり、意見交換会では、大学を取り巻く環境や活動は違いますが、福知山公立大学生の地域に向き合う姿勢や課題への対応、目標を現実化する力など、私たちがいま一度自分たちの活動を見つめ直さなければいけないと感じさせてくれるものでした。

また今回が初交流となった一回生にとっても他大学・他地域の活動を知る機会となり、沢山の学びがあったようです。

継続的に交流を深めることで、福知山公立大学をはじめとする他大学との連携が更に図られ、本学の地域貢献活動に大きな影響を及ぼしてくれることを期待しています。

さらに議論を深めるだけにとどまらず、議論の中で生まれた新しい発想や気づきを、協力し実際に地域に出てカタチにするようなことがいつかできればと思います。

どのような成果が現れるのか、今から楽しみです。

（学生部会かごら 泉）



意見交換会の様子

お知らせ

桜楓講座のご案内

『大震災と宗教ー鯰絵と「社会参加する仏教」ー』

日時：11月4日（日）10:00～12:00
講師：文学部准教授　川瀬　貴也
場所：京都府立京都学・歴彩館大ホール

『ヘルシーエイジングのすすめー若い頃の食生活が老後を決める！』

日時：11月17日（土）10:00～12:00
講師：生命環境科学研究科教授　南山　幸子
場所：京都府立京都学・歴彩館大ホール

お申込先
京都府立大学京都地域未来創造センター
〒606-8522（住所記入不要）
TEL 075-703-5319 FAX075-703-4979
Email kirpinfo@kpu.ac.jp URL http://www.kpu.ac.jp

産学連携リエゾンオフィスだより

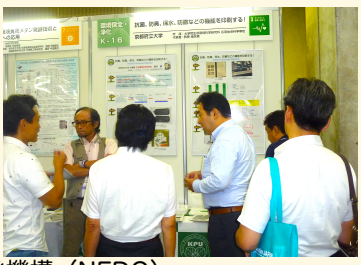
イノベーション・ジャパン2018に出店しました

大学等における研究シーズを産業界のニーズにマッチングさせイノベーションを目指す国内最大規模のイベント「イノベーションジャパン２０１８―大学見本市＆ビジネスマッチング」に出展し、生命環境科学研究科 細矢憲教授のシーズを発表しました。

【本学の出展・発表内容】 テーマ ： 抗菌、防臭、保水、防黴などの機能を印刷する！
発表者 ： 生命環境科学研究科　細矢　憲　教授

本学ブースには200人を超える来場者がありました。また後日問い合わせも数件あるなど、産業界の関心の高さが伺えました。

開催日：平成30年8月30日～31日
開催場所：東京ビッグサイト　（東京都江東区有明）
主　催：科学技術振興機構（JST）、新エネルギー産業技術総合開発機構（NEDO）



展示の様子